

最新研究

テストステロンは、アンチエイジング、長寿、記憶力にも関係していた!



テストステロンと記憶の関係を世界で初めて発表した川戸佳さん

脳とホルモンの関係を研究。

脳の一部、記憶を作る海馬という部位には多くの神経細胞があり、これらのつなぎ目はシナプスと呼ばれます。認知神経科学の専門家、川戸佳さんは、このシナプスの数をテストステロンが制御していることを発見。テストステロンが低下している人はシナプスが減り、記憶・認知能力が低下してしまうため、若い頃のテストステロンの値に近づけると認知機能が回復すると考えられます。将来、認知症予防や物忘れの改善にテストステロンが使われる日がくる可能性も。

記憶にとって大切なシナプスの数が増えた!

ラットの海馬にテストステロンを加えると、シナプス(黄色い部分)の数が1.3倍に増えた。

